

2024年4月11日～24日
2024年度Jミルク事業説明会資料

2024年度酪農乳業乳製品在庫調整 特別対策事業の実施について



酪農乳業乳製品在庫調整特別対策事業の実施状況

《数量実績》

単位:トン

種類	対策名	2022年度 実績	2023年度 4~2月実績	2023年度目標	残数
脱脂粉乳	飼料転用	22,771	11,845	13,473	1,628
	調製品置換	4,422	11,326	12,973	1,647
	海外輸出	6,106	1,097	0	-1,097
	合計	33,299	24,268※	26,446	2,178
加工	飼料転用	55	0	0	0
全粉	飼料・調製品	300	517	517	0
総合計		33,654	24,785	26,963	2,178

※2023年度末で**33,000トン**程度の実績になる見込み

《事業実施主体》 延べ12事業者

株式会社明治、雪印メグミルク株式会社、森永乳業株式会社、よつ葉乳業株式会社、タカナシ乳業株式会社
 北海道乳業株式会社、南日本酪農協同株式会社、北海道日高乳業株式会社、株式会社弘乳舎、中央製乳株式会社
 全国農業協同組合連合会、全国酪農業協同組合連合会



酪農乳業乳製品在庫調整特別対策事業の実施状況

単位:百万円

《収支実績》

		収入実績			支出実績			2023年度金額枠	
		2022年度	2023年度 4~12月 ^{※2}	計	2022年度	2023年度 4~12月	計	^{※3} 金額枠	金額枠残
生産者	拠出金分	3,208	2,044	5,252	1,134	1,893	3,027	4,559	2,667
	乳業者	750	646	1,395	168	836	1,004	1,496	660
乳業者	負担分	967	545	1,512	967 ^{※4}	545	1,512	631	85
	計	1,716	1,191	2,907	1,134	1,382	2,516	2,127	745
合計		4,924	3,235	8,159	2,269	3,274	5,543	6,686	3,412
ALIC事業		2,566 ^{※1}	697	3,263	2,566	697	3,263	1,714	1,017
総合計		7,490	3,932	11,421	4,835	3,971	8,806	8,400	4,429
拠出分計		3,957	2,690	6,647	1,302	2,729	4,031	6,055	3,327

※1 ALIC事業の2023年度実績は、4~11月実績

※2 2023年度収入実績は、4~12月乳量分(2月末入金)

※3 2023年度金額枠には物流経費及びJミルク経費は含まず

※4 金額枠の乳業者負担分は、取引乳量確定前のため、暫定値

酪農乳業乳製品在庫対策基金の拠出への協力状況(2024年3月現在)

生産者団体(40銭)

地域・都道府県	生産者団体名
1 北海道	ホクレン農業協同組合連合会
2 北海道	サツラク農業協同組合
3 東北	東北生乳販売農業協同組合連合会
4 関東	関東生乳販売農業協同組合連合会
5 北陸	北陸酪農業協同組合連合会
6 東海	東海酪農業協同組合連合会
7 近畿	近畿生乳販売農業協同組合連合会
8 中国	中国生乳販売農業協同組合連合会
9 四国	四国生乳販売農業協同組合連合会
10 九州	九州生乳販売農業協同組合連合会
※ 全国	一般社団法人中央酪農会議

乳業者(40-10銭)

都道府県	乳業者名	都道府県	乳業者名	都道府県	乳業者名
1 北海道	十勝浦幌森永乳業株式会社	21 群馬県	東毛酪農業協同組合	41 大阪府	江崎グリコ株式会社
2 北海道	よつ葉乳業株式会社	22 群馬県	群馬明治株式会社	42 大阪府	日本酪農協同株式会社
3 北海道	北海道日高乳業株式会社	23 埼玉県	西武酪農乳業株式会社	43 兵庫県	株式会社共進牧場
4 北海道	株式会社豊富牛乳公社	24 埼玉県	有限会社戸田乳業	44 兵庫県	淡路島牛乳株式会社
5 北海道	株式会社北海道酪農公社	25 埼玉県	森乳業株式会社	45 鳥取県	大山乳業農業協同組合
6 北海道	新札幌乳業株式会社	26 千葉県	千葉酪農農業協同組合	46 岡山県	オハヨ一乳業株式会社
7 北海道	北海道乳業株式会社	27 千葉県	古谷乳業株式会社	47 広島県	山陽乳業株式会社
8 北海道	北海道保証牛乳株式会社	28 東京都	カルピス株式会社	48 広島県	チチヤス株式会社
9 岩手県	株式会社湯田牛乳公社	29 東京都	協同乳業株式会社	49 広島県	広島協同乳業株式会社
10 岩手県	奥中山高原農協乳業株式会社	30 東京都	小岩井乳業株式会社	50 広島県	広島森永乳業株式会社
11 宮城県	みちのくミルク株式会社	31 東京都	全国酪農業協同組合連合会	51 山口県	やまぐち県酪乳業株式会社
12 宮城県	東北森永乳業株式会社	32 東京都	株式会社明治	52 香川県	四国明治株式会社
13 福島県	酪王協同乳業株式会社	33 東京都	森永乳業株式会社	53 愛媛県	四国乳業株式会社
14 茨城県	いばらく乳業株式会社	34 東京都	雪印メグミルク株式会社	54 熊本県	熊本森永乳業株式会社
15 茨城県	関東乳業株式会社	35 神奈川県	横浜森永乳業株式会社	55 熊本県	熊本県酪農業協同組合連合会
16 茨城県	トモ工乳業株式会社	36 神奈川県	タカナシ乳業株式会社	56 熊本県	株式会社弘乳舎
17 茨城県	筑波乳業株式会社	37 静岡県	いなさ酪農業協同組合	57 宮崎県	南日本酪農協同株式会社
18 栃木県	栃木明治牛乳株式会社	38 静岡県	大林牛乳	58 鹿児島県	鹿児島県酪農乳業株式会社
19 栃木県	日光霧降高原 大笹牧場株式会社	39 長野県	八ヶ岳乳業株式会社		
20 群馬県	榛名酪農業協同組合連合会	40 愛知県	中央製乳株式会社		

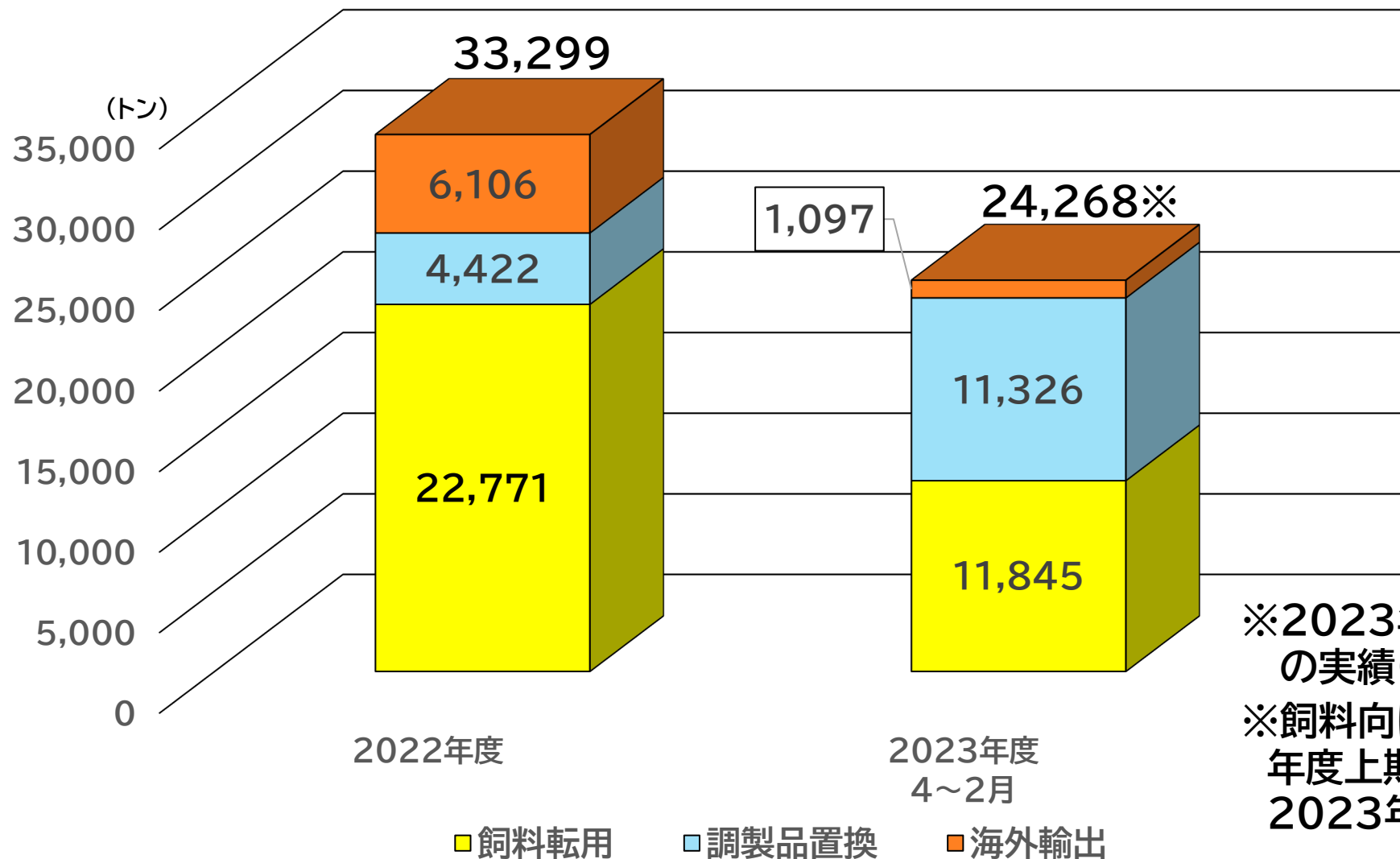
※中央酪農会議は、会員指定団体との同意書締結の手続きのほか、会員の集金とりまとめを行う

乳業者における基金拠出単価の内訳

拠出単価	同意乳業者数	割合
31-40銭	6	10.3%
21-30銭	0	0.0%
11-20銭	2	3.4%
10銭	50	86.2%
合計	58	100.0%

※乳業者は、日本乳業協会・全国農協乳業協会のいずれかと同意書締結の手続きを行っている

脱脂粉乳対策別実績



※2023年度末で33,000トン程度の実績(総量)になる見込み

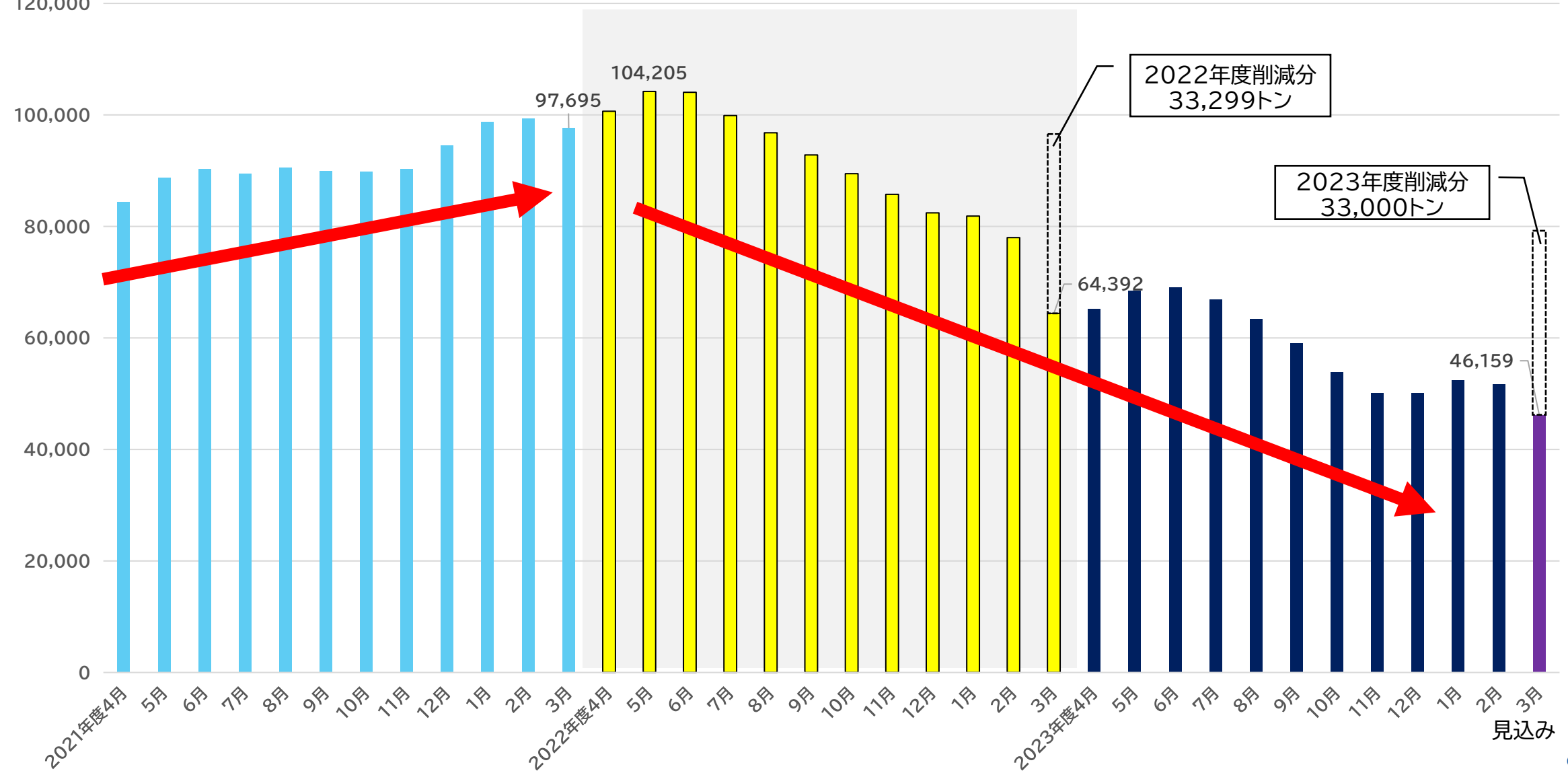
※飼料向け販売は、2023年度末に翌年度上期分程度を販売したため2023年度の実績に影響した

統計からみる各対策の効果

脱脂粉乳在庫推移

注: 本対策事業以外にも生産者団体等の取り組みもあり在庫が減少

単位:トン
120,000

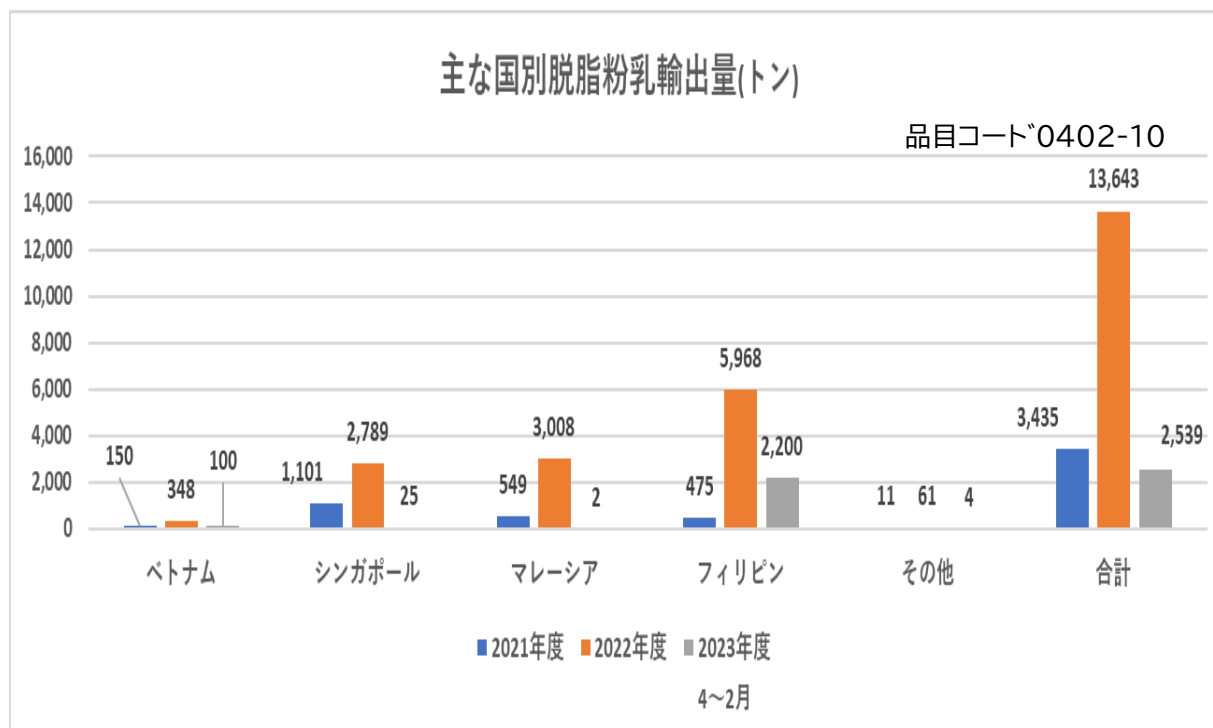
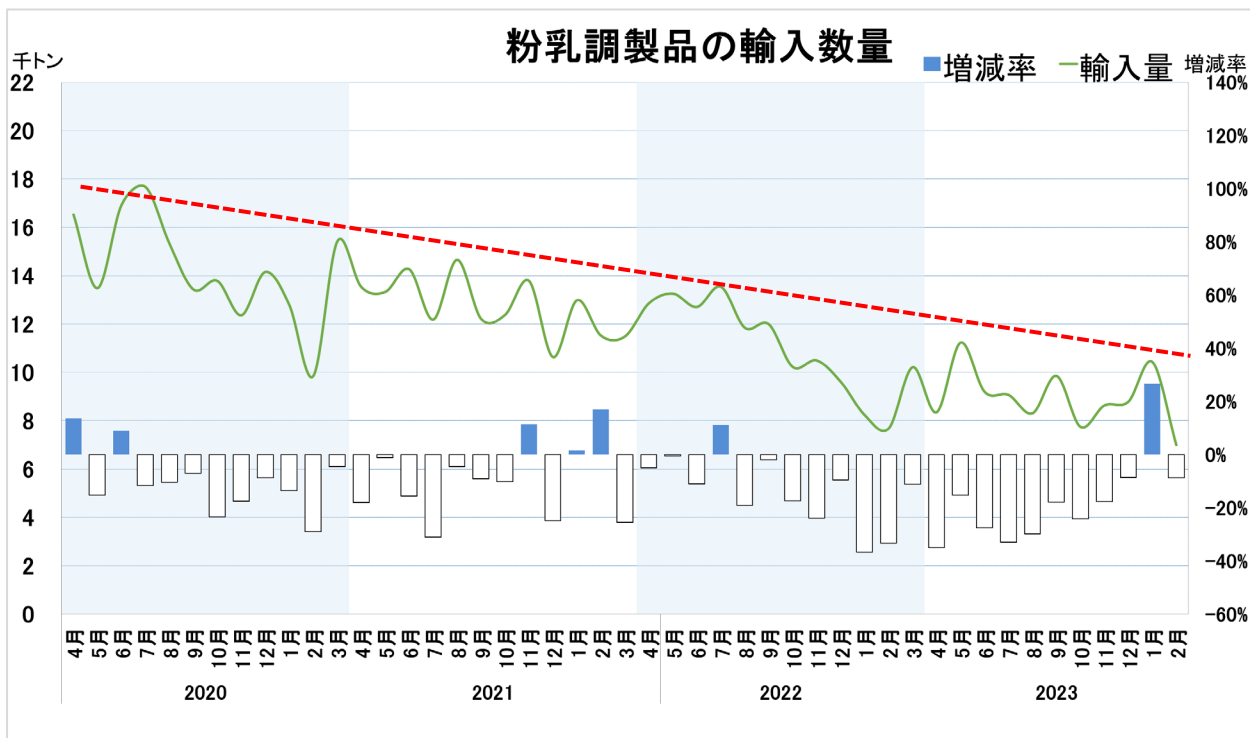
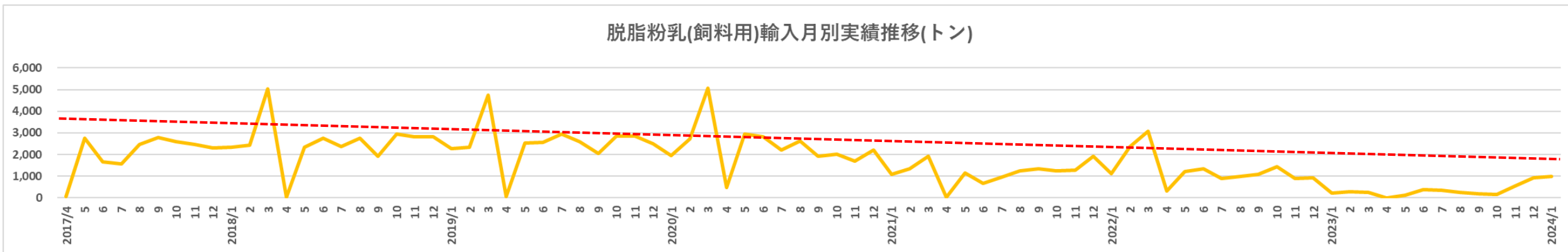


2022年度削減分
33,299トン

2023年度削減分
33,000トン

見込み

統計からみる各対策の効果



データ元:財務省「貿易統計」

用語:粉乳調製品 = 製菓、製パン、デザート類、乳飲料、アイス、ヨーグルト、各種食品、調味料等に利用



2024年度酪農乳業乳製品在庫調整特別対策事業の枠組み

飼料の高騰などを踏まえた乳価引き上げによる飲用牛乳の消費への影響やバター・脱脂粉乳の需要のアンバランスなど、引き続き脱脂粉乳在庫の積み増しリスクが高く、2024年度期末在庫は、8.2万トンと再び増加する見通しとなっていることから、在庫低減事業を通じた生乳需給の改善により、生産者が意欲をもって生乳生産を行える環境と牛乳乳製品の安定供給の実現を図るため、事業を継続して実施する。

(実施期間)

2024年4月から**2025年3月末まで** 事業対象期間を1年間延長する(2022年4月から2025年3月末)
なお、在庫対策基金への拠出は**2024年度の生乳取引分を対象**とする。(2022年度、2023年度、2024年度)

(対象数量)

バター需要の生産量確保ベースで6万トン程度の期末在庫水準にすることを目標

19,000トン

過剰分27千トン－乳業者による需要拡大分8千トン

(拠出金単価)

- ・対象期間 2024年4月～2025年3月(1年間)
- ・拠出金単価 生産者 35銭(2023年度40銭)
乳業者 10～35銭(2023年度10～40銭)

《基金所要額試算》

対象数量	補填平均単価	必要金額	生乳供給量
19,000トン	254円	4,826百万円	6,842千t

《事業規模イメージ》

(基金拠出分)

生産者 2,413百万円

(基金拠出分)乳業者 573百万円

乳製品在庫調整乳業者 負担分
(本体価格(単価)の値引き) 1,840百万円

ALIC事業 2,000百万円(飼料向け限定)

※暫定として前年度予算並みとした



酪農乳業乳製品在庫対策基金拠出の同意書締結について

本事業に賛同いただける場合は、Jミルクと個別事業者・団体等が支払い方法や所属団体等を確認し「基金納入同意書」を締結をお願いいたします。

生産者(35銭/kg)

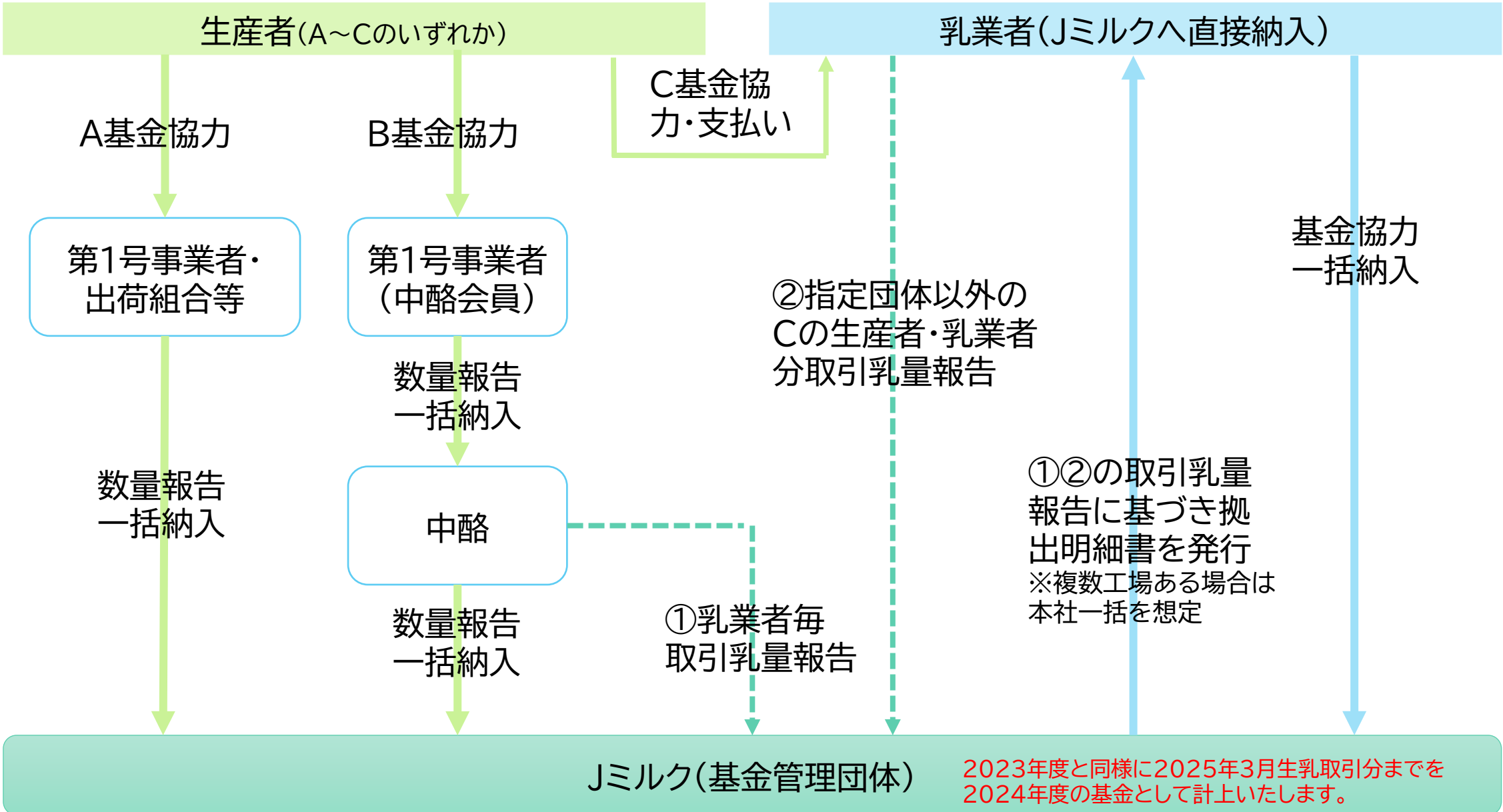
希望する支払方法	同意書の締結者
①生乳販売事業者が直接Jミルクに支払う場合	生乳販売事業者×Jミルク
②生乳販売事業者(中酪会員)が中酪を経由してJミルクに支払う場合	生乳販売事業者×中酪×Jミルク
③乳業者を経由して支払う場合	乳業者×Jミルク(×乳協または農乳協)

乳業者(10~35銭/kg)

所属団体に応じて締結	同意書の締結者
①乳協会員または間接会員乳業者	乳業者×乳協×Jミルク
②農乳協会員乳業者	乳業者×農乳協×Jミルク
③乳業団体に所属していない乳業者	乳業者×Jミルク

「基金納入同意書」に基づいて、2024年4月の生乳取引分から基金拠出をご依頼いたします

酪農乳業乳製品在庫対策基金の基金拠出の支払いフロー



納入同意書締結スケジュールとお問い合わせ窓口

4月末日まで納入同意書をご提出いただき、5月から基金拠出をいただく準備をいたしますのでご協力お願いいたします。

生産者関係のお問い合わせ先

- ①中酪会員である第1号事業者
中酪総務部
(TEL 03-6688-9841)
- ②上記以外の生乳取引事業者・出荷組合等
Jミルク 生産流通グループ
(TEL 03-5577-7493)

乳業者関係のお問い合わせ先

- ①乳協・乳業連合の会員乳業者
乳協総務部 (TEL 03-3261-9162)
- ②農乳協の会員乳業者(TEL 03-5931-8065)
- ③上記以外の乳業者
Jミルク 生産流通グループ
(TEL 03-5577-7493)

酪農乳業在庫調整特別対策事業のウェブサイトにて情報発信を行います

Jミルクウェブサイト⇒酪農乳業情報⇒酪農乳業在庫調整特別対策事業
事業実施要綱や基金要領、ALIC事業の詳細など今後掲載していく予定です。

<https://www.j-milk.jp/gyokai/2024zaiko.html>